



図書館裏側潜入ツアー

いつも市立図書館をご利用いただきましてありがとうございます。本日は栗盛記念図書館の裏側をご案内いたします。

❁まずは表側

まずは表側から。一階は一般書、児童書、新聞・雑誌の三つのコーナーからなっております。一般書は約9万2千冊、児童書は約2万7千冊所蔵しております。

新聞は地方紙3紙、全国紙5紙、政党紙5紙の13紙がございます。雑誌は栗盛記念図書館では文芸雑誌や婦人雑誌など45種類ございます。

児童書コーナーの奥が多目的室として、絵本や子育ての本をご用意しています。さらに進んでいただくとラウンジがあります。こちらでは飲食ができます。自動販売機もございますので、読書や勉強に疲れた時にはおくつろぎいただけます。ラウンジの窓から見えるのが松下村塾です。さまざまなサークルや勉強会が行われています。お庭もきれいですね。

次に二階へ参りましょう。階段を上がりましてすぐ目に入りますのが、図書館の中のちいさな美術館の作品です。6月は絵画の展示となっております。

二階は2部屋ございまして、一つは辞典や図鑑の部屋、参考図書室です。この部屋の本は貸し出しできませんが、コピーサービスがございますのでお気軽にカウンターまでお申し付けください。隣は資料室です。安藤昌益に関する本や、県の重要文化財である菅江真澄著作集の複製本を展示しています。

❁いざ図書館の秘境へ

さて、ここからが本日のメインイベントでございます。栗盛記念図書館の秘境にご案内いたします。『一般の方は立入らないでください』の扉を開けると…。

第一の秘境、資料保管庫です。こちらは大館市や秋田県に関する貴重な郷土の資料が収蔵されています。広報や新聞のスクラップも大切な資料として保存しています。残念ながら皆様の目に直接触れることができませんし、貸し出しはできませんが、館内で読むことはできますのでご利用ください。

次の秘境は、閉架書庫です。一階の書棚に収めきれなくなった本や、雑誌のバックナンバー、新聞等がございます。古いものと、新聞は昭和20年からの北鹿新聞や秋田魁新報、雑誌は昭和23年発行の第一号から現在までの『暮らしの手帖』など収蔵しています。かつて読んだ懐かしい本や雑誌に囲まれてなかなか出てこれないところでもあります。

簡単ではございますがこれで栗盛記念図書館のご案内を終了いたします。皆様のもますますのご利用を職員一同心よりお待ちしております。本日はありがとうございました。

❀まちゼミを終えて

5月16日、22日『図書館の裏側潜入ツアー』と銘打って、大館市立図書館として初めてまちゼミに参加しました。16日は午前、22日は夜に行いました。本の探し方や、普段は入ることのできない資料保管庫や閉架書庫を案内しました。裏側とか、舞台裏というのは、ワクワクドキドキしますよね。それを少しでも感じていただけたのでは、と思います。こちらもいつもは職場体験に来る児童・生徒さんたちに館内を案内しているのですが、今回初めて大人の方を案内してとても新鮮でした。

さあ、あなたも図書館の秘境を一緒に探検してみませんか。もしかしたら、思い出の一冊にまた会えるかもしれませんよ。（栗盛・佐）